

1. 競技規則について

本大会は 2020 年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 競技場の使用と練習について

(1) 本競技場並びに小机フィールド競技場は全天候舗装のためスパイクの長さは 9mm 以内とする。

ただし、走高跳は 12mm 以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は 4mm 四方の規定に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は 11 本以内とする。

(競技規則 143 条 2・3・4・5・6 参照)

(2) 10 月 15 日 (木)～10 月 18 日 (日) の期間に「練習会場使用日程」に示す時間帯で、

『13. 練習会場の使用について』にもとづき練習ができる。(競技役員の指示に従い練習すること)

(3) 更衣は、本競技場、および、小机フィールドの男女更衣室を準備する。貴重品は各自で管理する。

(4) 救護本部は競技場内の 208 号室に設置する。

3. 招集について

(1) 招集所はマラソンゲート (100m スタート地点後方：2 階外周路 柱番号 273～275) に設ける。

(2) 招集の方法

① 競技者は、競技日程に示された招集完了時刻に招集所内の席で待機し、最終点呼を受ける。

その際、競技役員にユニフォームのアスリートビブス (ナンバーカード) の確認を受け、腰ナンバー標識 (1 枚) を受け取り、出発までに右腰部やや後方につける。(トラック競技のみ) あわせてスパイクピンの長さ、靴底の厚さ及びシャツ・パンツ等の商標の点検を受ける。代理人による最終点呼は認めない。

② リレーチームの編成メンバーは、最初に出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2 人以内に限り、他の競技者と交代することができる。(競技規則第 170 条 10)

③ リレー競技に出場するチームは競技者 (4 人) の氏名と走者順及びナンバーを招集所に用意したオーダー用紙に記入し、競技者係に提出する。その締切り時刻は第 1 組招集完了時刻 60 分前とする。

決勝についても必ず提出する。

④ 招集完了時刻は、競技日程の通りとする。

⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとみなして処理する。

⑥ やむを得ず欠場する時は、競技者の所属する監督が「欠場届」を招集所で受け取り、必要事項を記入の上、招集完了時刻までに競技者係に届け出る。

4. アスリートビブス (ナンバーカード) について

(1) アスリートビブス (ナンバーカード) は、主催者が用意したもの (胸・背用 1 枚) を使用し、配布された大きさのままユニフォームに固定する。

・跳躍種目に参加する競技者は、背または胸のみでもよい。

(2) 3000m は特別アスリートビブス (ナンバーカード) を使用する。招集時に配布するので、アスリートビブスを持参して受け取ること。

(3) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識 (1 枚) を配布する。

(招集時に受け取り、右腰部やや後方につける。)

※特別アスリートビブス (ナンバーカード) や腰ナンバー標識も終了後、回収は行わないので各自持ち帰ることとする。

(4) アスリートビブスとプログラムの配布については、次のように行う。

・配布場所 : 日産スタジアム正面玄関前 ※三密を避けるためチーム関係者 1 名での受付。

・配布時間 : 10 月 15 日 (木) 11:00～17:00

10 月 16 日 (金) 7:30～17:00

10 月 17 日 (土) 7:30～17:00

10 月 18 日 (日) 7:30～12:00

5. 競技場内への入退場について

(1)トラック競技出場者の入退場

- ① 招集所から競技者係の誘導により競技場所に入場する。
- ② フィニッシュ後、それぞれ競技場内の通路を利用してスタート地点へ戻り、マラソングート（100m スタート地点後方）から退場する。
- ③ 予選は、主催者が用意したビニール袋に荷物を入れスタート地点に置いておく。
- ④ 決勝については、主催者により荷物を正面玄関中央ホールに運搬する。
- ⑤ 決勝において1～8位の入賞者は、入賞者係によってインタビュー室に誘導される。

(2) フィールド競技出場者の入退場

- ① 招集所から競技者係の誘導により競技場所に入場する。
- ② 競技終了後、跳躍及び投てき競技役員の誘導により各ゲートから退場する。
- ③ 決勝において1～8位の入賞者は、入賞者係によってインタビュー室に誘導される。

(3) 混成競技出場者の入退場

- ① 混成競技の控え室は設けないので、種目毎に招集所に集合し競技役員の指示に従うこと。
- ② トラック競技・フィールド競技の入退場と同様の入退場とする。
- ③ 最終種目終了後は、フィニッシュ地点先のゲート内に待機し、1～8位の入賞者は、入賞者係によってインタビュー室に誘導される。

6. 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) 予選・決勝の組み合わせ及び全競技のレーン順・試技順は、競技規則第166条・第167条により主催者が公平に決める。
- (2) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載のナンバーの左に数字で示す。
- (3) トラック競技の決勝のレーン順は、招集所付近（2階外周路 柱番号273～275）に掲示する。
- (4) タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該の競技者または代理人による抽選とする。（競技規則第167条）

7. 競技運営について

(1) トラック競技について

- ① 男子 100m 200m 400m 800m 110mH 4×100m リレー 女子 100m 200m 800m 100mH 4×100m リレーは予選ラウンドで上位の競技者が A 決勝に、A 決勝進出競技者を除いた上位の競技者が B 決勝進出するものとする。男子 1500m 3000m、女子 1500m は予選ラウンドで上位 16 名の競技者が決勝に進出するものとする。
- ② A 決勝を予選上位 8 位までの競技者・チーム、B 決勝を予選 9 番～16 位までの競技者・チームとする。決勝ボーダーライン上で 0.01 秒単位で同記録があった場合、0.001 秒で着差判定をし、進出者を決める。着差がない場合は抽選とする。
- ③ 計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ④ レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ⑤ 競技運営上、1～9レーンを使用することがある。
- ⑥ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ⑦ 4×100m リレーの各走者は、同一のユニフォームでなければならない。
- ⑧ 4×100m リレーの第2・第3・第4走者は、出発係から渡されたマーカーを1ヶ所使用することができる。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
- ⑨ ハードル種目の規格は、次の通りである。
男子 110mH：高さ 0.914m ハードル間 9.14m
女子 100mH：高さ 0.762m ハードル間 8.00m
- ⑩ スタートの合図は英語とする。（「On your marks」「Set」）
- ⑪ 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。（競技規則 162 条 6・7）
- ⑫ 男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートをした競技者は、すべて失格

とする。(競技規則 162 条 8、および 200 条 8 (c))

- ⑬「スタート時の不適切行為」に関しては、審判長より警告(イエローカード)を与えられることがある。本大会は、イエローカード 2 枚で当該種目のみを失格(レッドカード)とし、それ以後の種目からは除外しない。

(2) フィールド競技について

- ① 走幅跳、砲丸投では、全ての競技者は 2 回の試技が与えられる。試技 2 回終了時点での、トップ 16 の競技者は更に 2 回の試技が与えられる。
走高跳・棒高跳は、連続する 2 回の失敗試技で、競技終了とする。
- ② 跳躍競技者は、主催者が用意したマーカーを 2ヶ所使用することができる(曲走路内に限る)。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
- ③ フィールド競技における競技場内での練習は 2 回とし、すべて競技役員の指示に従う。指示以外の練習は認めない。
- ④ 走高跳は、並んで設けられたピット 2ヶ所に分かれて決勝を開始する。それぞれ最後の高さまで競技を行い、それぞれのピットの結果を総合して順位を決定する。優勝決定戦が必要な場合、1組で出た場合はピット A、2組で出た場合はピット B で、1・2組で出た場合はピット A で実施する。(この際に不公平が生じないように十分な足合わせの時間を設ける)
- ⑤ 跳躍競技の競技場所は、1組はピット A、2組はピット B とする。
- ⑥ 投てき競技における「身体の保護」については競技規則第 187 条 4 に従う。

(3) 四種競技について

- ① 得点表は四種競技(男子・女子)のものを使用する。
- ② 砲丸投はすべての競技者は 2 回の試技が与えられる。
- ③ 走高跳は、連続する 2 回の失敗試技で、競技終了とする。
- ④ 混成控え室は設けないので、種目毎に招集に集合すること。
- (4) 抗議は、競技規則第 146 条に従って定められた時間内に、TIC を通じて、競技者自身または監督が口頭で審判長(大会本部に申し出る)に行く。さらに、この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、当該総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる。
- (5) 競技場内での助力は禁止する。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話・スマートフォンもしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。(競技規則第 144 条 3b)
- (6) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては、当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。(競技規則第 125 条 5)
- (7) プログラムに記載された競技者が理由なく出場しなかった場合は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない措置を講ずることがあるので、欠場する場合は必ず欠場届を競技者係まで提出すること。

8. バーの上げ方について

男子走高跳

練習 :1m80 競技 :1m83-1m86-1m89 (以降 3cm きざみとする)

女子走高跳

練習 :1m54 競技 :1m57-1m60-1m63 (以降 3cm きざみとする)

男子棒高跳

練習 :3m80 競技 :3m90-4m00-4m10-4m20 (以降 5cm きざみとする)

男子四種走高跳

A 練習 1m37 競技 :1m40-1m43-1m46 (以降 3cm きざみとする)

B 練習 1m55 競技 :1m58-1m61-1m64 (以降 3cm きざみとする)

女子四種走高跳

A 練習 1m25 競技 :1m28-1m31-1m34 (以降 3cm きざみとする)

B 練習 1m37 競技 :1m40-1m43-1m46 (以降 3cm きざみとする)

- ①走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。
ただし、競技規則第181条4の(b)の場合は除く。
- ②第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmとする。
- ③棒高跳の「アップライト申告用紙」は、招集完了時刻までに競技者係に提出する。なお、用紙は招集所に用意する。
- ④四種競技の走高跳の高さは2段階に設定し、実施する。

9. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 主競技場における競技前の練習用としても、個人の用器具を競技場内に持ち込んではいけない。
- (3) 但し、棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用できる。

性別	種目	メーカー	重量	直径	個数
男子	砲丸投げ	ニシ	5.000kg	Φ110mm	9
	4種競技		4.000kg	Φ109mm	3
				Φ103mm	9
				Φ99mm	3
女子	砲丸投げ	ニシ	2.721kg	Φ90mm	9
	4種競技				

10. 競技用靴について

- (1) トラック競技においては、WA改訂規則を適用する。
- (2) 規定外シューズ使用者の扱いについて「失格扱い」とする。
※レース前に確認した場合は出場を認めない、招集所で確認できなかった、あるいは事後に確認された場合は記録抹消の扱いとする。
フィールド競技のシューズに関して2020年11月30日までは、WA改定前規則に準じたシューズの使用は認められる。

11. 表彰について

- (1) 各種目の優勝者と第2位、3位には賞状とメダルを、第4位から第16位までに賞状をそれぞれ授与する。
- (2) 優秀競技者に、男女それぞれJOCジュニアオリンピックカップを授与する。優勝したリレーチームには優勝杯が贈られる。
最優秀選手賞は男子1名、女子1名の計2名を選考委員会で選び、競技会終了後授与する。
- (3) 各種目の優勝者ならび2位～3位の入賞者の表彰は、表彰台で行う。
- (4) 表彰を受ける競技者は競技終了後、入賞者係によりインタビュー室経由で正面スタンド下に設けられた被表彰者控室に誘導され待機する。
- (5) 第4位から第16位の賞状は、TICにて受け取ることができる。

12. 一般的注意事項

- (1) IDカードは競技者1名につき監督コーチIDを1枚発行する。ただし、リレーについては参加チーム1チームにつき監督コーチIDを2枚発行する。いかなる場合でも再発行はしない。
- (2) 商標について
商標等の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規程」に違反したものについて主催者で処置する。

国内適用

《学校以外》

- ・最大で下記まで表示できる
- ・登録所属名/ロゴは当面、スポンサー名/ロゴでも可とする。
- ・クラブ名とスポンサーは同じ会社の別のサービス名でも可とする。
- ・上半身と下半身で別のスポンサー名/ロゴを表示することはできない。

①上半身について

前：スポンサー名 / ロゴ×1 (40cm² 以内 高さ 5cm 以内) + 登録所属名 / ロゴ×1 (高さ 5cm 以内、幅制限なし)
後：登録所属名 / ロゴ×1 (高さ 4cm 以内、幅制限なし)

②下半身について

スポンサー名 / ロゴ×1+ 登録所属名 / ロゴ×1 (それぞれ 40cm² 以内、高さ 5cm 以内)

《学校》

- ・最大で下記まで表示できる
- ・上半身と下半身で別のスポンサー名 / ロゴを表示することはできない。

①上半身について

スポンサー名 / ロゴ (40cm² 以内 高さ 5cm 以内) × 1+ 学校名 / ロゴ (大きさ制限なし) を前後 1ヶ所ずつ

②下半身について

スポンサー名 / ロゴ×1+ 学校名 / ロゴ×1
(スポンサー名 / ロゴは 40cm² 以内 高さ 5cm 以内、学校名 / ロゴは制限なし)

③競技中に競技者が使用する他のアパレル (靴下 (膝丈の靴下を含む)、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンド、前腕バンドなど) のメーカーの名前 / ロゴは、1つ表示することができる。このような表示の最大サイズは最大 6cm²で、最大の高さは 3cm。競技中に競技者によって使用されるその他の衣類 (ヘッドギア・帽子・ヘッドバンド・手袋・メガネ・サングラス・リストバンド等)

④バッグ

すべてのバッグ (タグとラベルを含む)

- ・製造会社名 / ロゴを表示できる。最大の大きさは 40cm²、最大の高さ 5cm;
- ・もしくは競技者スポンサー名 / ロゴは 2つ表示できる。最大の大きさは 40cm²、最大の高さ 5cm;
- ・あるいは競技者名 / 競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ

(3) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室 (208 号室) に連絡する。

(4) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者にて行う。

大会参加中に負傷した場合は傷害保険補償内容を適用する。

(5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意する。

(6) 遺失物については大会庶務係で保管する。保管期限は 10 月 18 日 (日) 競技会終了までとする。

(7) 記録はその都度発表するが、WEB 上でも確認できる。※「QR コード」

(8) 横断幕等の設置はできません。

(9) スタンドにおけるテント・シートの使用は禁止する。スタンド席でのロープ等を使用しての場所取りも禁止する。また、シート禁止区域には敷かないようにすること。

(10) 提出書類等は次の通りとする。

提出書類	提出場所
① 欠場届	招集所
② リレーオーダー届	同上
③ アップライト申告用紙	同上
④ 上訴申立書	TIC
⑤ 記録証明交付願い	同上

(11)「記録証明書」を希望する競技者は、TIC に 500 円を添えて申し込む。

13. 練習会場の使用について (練習会場注意事項)

(1) 主競技場 (日産スタジアム)

① 10 月 15 日 (木) は、トラック競技 (ハードルを除く) のみ開放する。開放時間等は、『練習会場使用日程』にて確認する。

②ウォーミングアップは、第 1 曲走路入口～第 2 曲走路 9 レーン出口までの外側芝生部分で行う。

フィールド内の「芝」部分への立ち入りは禁止とする。

③競走路の使用は、以下の通りとする。なお、逆走は固く禁止する。

- * 1～2レーン 800m以上の種目
 - * 3～5レーン 100m～400m
 - * バック側(第1曲走路～第2曲走路)※日本選手権、全国高等学校リレー練習
 - * メイン直走路 スタートブロック設置
- ※ ジョギング等はトラックの外側部分を使用する。

④主競技場での飲食は一切禁止とし、ゴミはすべて持ち帰る。

(2) 補助競技場(日産フィールド小机:2階外周路 柱番号275横階段を降りる。)

①10月15日(木)は、ハードル、中学生のリレー、跳躍競技のみ開放する。

②ウォーミングアップは、第1曲走路入口～第2曲走路8レーン出口までの外側芝生部分で行う。

フィールド内の「芝」部分への立ち入りは禁止とする。

③競走路の使用は、以下の通りとする。なお、逆走は固く禁止する。

- * 1～2レーン 800m以上の種目
- * 3～5レーン 100m～400m
- * 6～8レーン ハードル種目
- * バック側(第1曲走路～第2曲走路) リレー練習 ※中学生R
- * メイン直走路 スタートブロック&ハードルの設置

④補助競技場における練習は、種別の競技時間に合わせて「優先使用時間帯」を設けることがある。

⑤私物をレーン上に置く等で、レーンを占有しない。

(3) 投てき練習場(2階外周路 柱番号257外側階段または柱番号275横階段を降りる)

①投てき練習場での練習は、『練習会場日程』で示した通りとする。ただし、投てき練習場の使用状況によっては競技役員の判断により練習の種目・時間を変更する場合がある。

②危険防止のため、荒天等で安全の確保が困難な場合は、予定時間内においても練習会場を閉鎖することがある。

③サークル・ピットでの練習は、順番を待つ人がいるときには、1人1回につき、1投とする。

④投てき用具は、必ず各自で持参した物を使用する。(貸し出しはしない)

(4) 雨天練習場は感染拡大防止の観点から使用しない。

(5) その他

①練習は各個人が、指定された場所・時間で行い、事故防止に万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者にて行う。大会参加中に負傷した場合は、傷害保険補償内容を適用する。

②荷物等は、個人が責任をもち管理する。ゴミはすべて持ち帰る。

③会場内(主競技場・補助競技場・投てき練習場・雨天練習場)の入退場時は、必ずIDカードを明示する。また、監督・コーチは会場内においては常にIDカードが確認できるように携帯する。

④競技場内に持ち込める飲み物は水のみとする。

練習会場と使用日程について

練習会場	主競技場	補助競技場	投てき練習場
条件	全天候型	全天候型	グラウンド
トラック	◎	◎	×
跳躍	10/15(木) 棒高跳	◎	×
投てき	×	×	◎
10/15(木)	11:30~17:00 ハードルは練習できない リレーは選手権・高校のみ	11:30~17:00 トラック種目はハードル種目 リレーは中学生のみ	11:30~16:00
10/16(金)	×	7:30~17:00	8:00~16:30
10/17(土)	×	7:30~17:00	8:00~16:30
10/18(日)	×	7:30~16:00	8:00~12:30